

① 人 口

C0101_人口総数・増加数

本市の人口は、5年ごとに行われる国勢調査の結果を見ると、平成12年から平成17年にかけては増加していたが、平成17年から平成22年は1.8%（575人）減少、平成22年から平成27年は1.9%（589人）減少となっており、平成27年から令和2年にかけては0.0%（15人）増加のほぼ横ばいとなっている。

区域別に見ると、非線引き用途地域では平成22年にかけては人口の増加が続き、平成22年から平成27年にかけては14.9%（2,334人）減少となったが、平成27年から令和2年にかけて0.4%（47人）増加となっている。

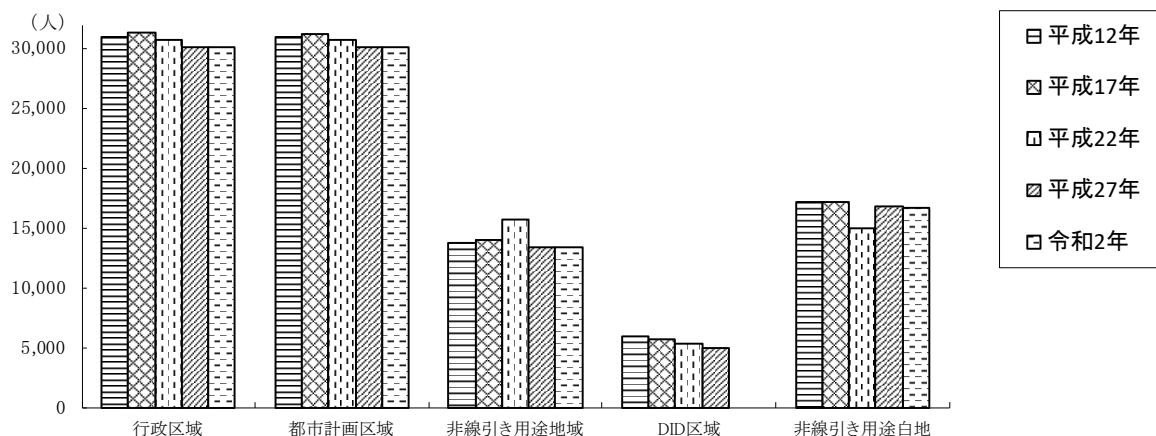
一方、非線引き用途地域内のDID区域（人口集中地区）の人口は平成12年から減少が続いており、平成27年の4,924人を最後に、令和2年国勢調査ではDID区域が無くなっている。

表1-1 人口総数・増加数

資料：国勢調査（平成12年～令和2年）

	平 成 12 年 人 口	平 成 12 年 ～ 平 成 17 年 の 増 減		平 成 17 年 人 口	平 成 17 年 ～ 平 成 22 年 の 増 減		平 成 22 年 人 口	平 成 22 年 ～ 平 成 27 年 の 増 減		平 成 27 年 人 口	平 成 27 年 ～ 令 和 2 年 の 増 減		令 和 2 年 人 口				
		人	口		率	人		口	率		人	口		率	人	口	率
行 政 区 域	30,944	327	1.1	31,271	△ 575	△ 1.8	30,696	△ 589	△ 1.9	30,107	15	0.0	30,122				
都 市 計 画 区 域	30,922	332	1.1	31,254	△ 573	△ 1.8	30,681	△ 583	△ 1.9	30,098	14	0.0	30,112				
非 線 引 き 用 途 地 域	13,793	246	1.8	14,039	1,633	11.6	15,672	△ 2,334	△ 14.9	13,338	47	0.4	13,385				
うち DID 区域	5,884	△ 180	△ 3.1	5,704	△ 331	△ 5.8	5,373	△ 449	△ 8.4	4,924	-	-	-				
非 線 引 き 用 途 白 地	17,129	86	0.5	17,215	△ 2,206	△ 12.8	15,009	1,751	11.7	16,760	△ 33	△ 0.2	16,727				

図1-1 人口総数の推移



C0101_年齢・性別人口

平成12年から令和2年にかけての年齢別人口の推移は、年少人口（15歳未満）の減少が続いており、平成12年の4,964人に対し令和2年は3,652人となり、1,312人（26.4%）減少となっている。生産年齢人口（15歳以上65歳未満）は、平成12年から平成17年までは横ばいであったが、平成22年を境に減少に転じ、平成17年の19,438人に対し令和2年は17,120人となり、2,318人（11.9%）減少となっている。また、高齢人口（65歳以上）は増加が続いており、平成12年の6,571人に対し令和2年は9,333人となり、20年間で2,762人（42.0%）増加となっている。なお、全人口に対して老年人口が占める割合を見ても、平成12年の21.2%に対し令和2年では31.0%に増加している。

表 1 - 2 年齢・性別人口

資料：国勢調査（平成 12 年～令和 2 年）

年 齢	平 成 12 年			平 成 17 年			平 成 22 年			平 成 27 年			令 和 2 年		
	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女
0～4	1,534	805	729	1,424	734	690	1,289	664	625	1,208	619	589	1,044	522	522
5～9	1,593	829	764	1,595	838	757	1,470	756	714	1,330	679	651	1,280	644	636
10～14	1,837	951	886	1,634	837	797	1,586	836	750	1,480	767	713	1,328	666	662
年少人口	4,964	2,585	2,379	4,653	2,409	2,244	4,345	2,256	2,089	4,018	2,065	1,953	3,652	1,832	1,820
15～19	1,754	894	860	1,627	842	785	1,413	721	692	1,405	733	672	1,344	703	641
20～24	1,588	816	772	1,395	702	693	1,215	636	579	1,035	535	500	1,093	581	512
25～29	2,108	1,080	1,028	1,810	901	909	1,526	782	744	1,353	694	659	1,197	626	571
30～34	1,688	797	891	2,176	1,104	1,072	1,816	920	896	1,583	817	766	1,524	772	752
35～39	1,925	989	936	1,806	858	948	2,151	1,103	1,048	1,880	970	910	1,758	901	857
40～44	1,929	933	996	1,937	994	943	1,808	871	937	2,172	1,122	1,050	2,054	1,066	988
45～49	2,282	1,177	1,105	1,938	918	1,020	1,912	989	923	1,810	858	952	2,279	1,159	1,120
50～54	2,455	1,258	1,197	2,261	1,152	1,109	1,911	907	1,004	1,885	977	908	1,924	911	1,013
55～59	1,986	1,051	935	2,448	1,222	1,226	2,294	1,169	1,125	1,950	927	1,023	1,980	1,018	962
60～64	1,687	840	847	2,040	1,065	975	2,481	1,238	1,243	2,307	1,168	1,139	1,967	928	1,039
生産年齢人口	19,402	9,835	9,567	19,438	9,758	9,680	18,527	9,336	9,191	17,380	8,801	8,579	17,120	8,665	8,455
65～69	1,825	863	962	1,664	831	833	2,017	1,061	956	2,426	1,202	1,224	2,283	1,135	1,148
70～74	1,785	828	957	1,710	795	915	1,606	774	832	1,918	978	940	2,350	1,144	1,206
75～79	1,377	541	836	1,631	706	925	1,552	689	863	1,437	678	759	1,778	881	897
80～84	924	346	578	1,132	421	711	1,364	543	821	1,331	548	783	1,239	557	682
85～90	464	139	325	699	216	483	810	265	545	1,003	352	651	978	370	608
90～	196	60	136	344	70	274	468	101	367	590	147	443	705	182	523
老年人口	6,571	2,777	3,794	7,180	3,039	4,141	7,817	3,433	4,384	8,705	3,905	4,800	9,333	4,269	5,064
年 齢 不 詳	7	4	3	-	-	-	7	5	2	4	3	1	17	10	7
総 計	30,944	15,201	15,743	31,271	15,206	16,065	30,696	15,030	15,666	30,107	14,774	15,333	30,122	14,776	15,346

※平成12年は、旧東部町と旧北御牧村の数値を合算したものを記載している。

（単位：人）

表 1 - 3 年齢構成指数の推移

	年少人口 指 数	老年人口 指 数	従属人口 指 数	老年化 指 数
平成12年	25.6	33.9	59.5	132.4
平成17年	23.9	36.9	60.9	154.3
平成22年	23.5	42.2	65.6	179.9
平成27年	23.1	50.1	73.2	216.7
令和2年	21.3	54.5	75.8	255.6

（単位：％）

年少人口指数＝年少人口÷生産年齢人口×100

老年人口指数＝老年人口÷生産年齢人口×100

従属人口指数＝（年少人口＋老年人口）÷生産年齢人口×100

老年化指数＝老年人口÷年少人口×100

図 1 - 2 年齢構成指数の推移

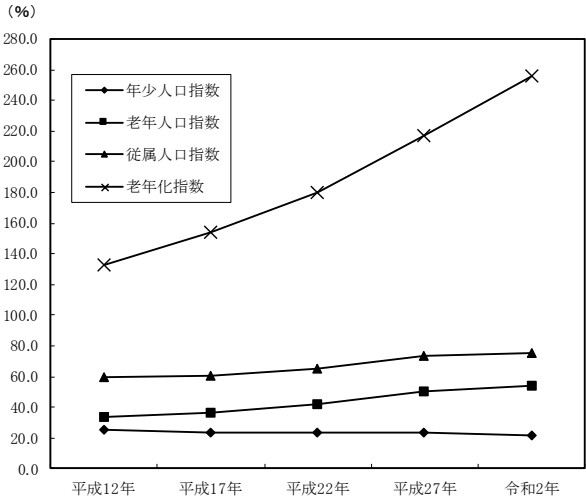
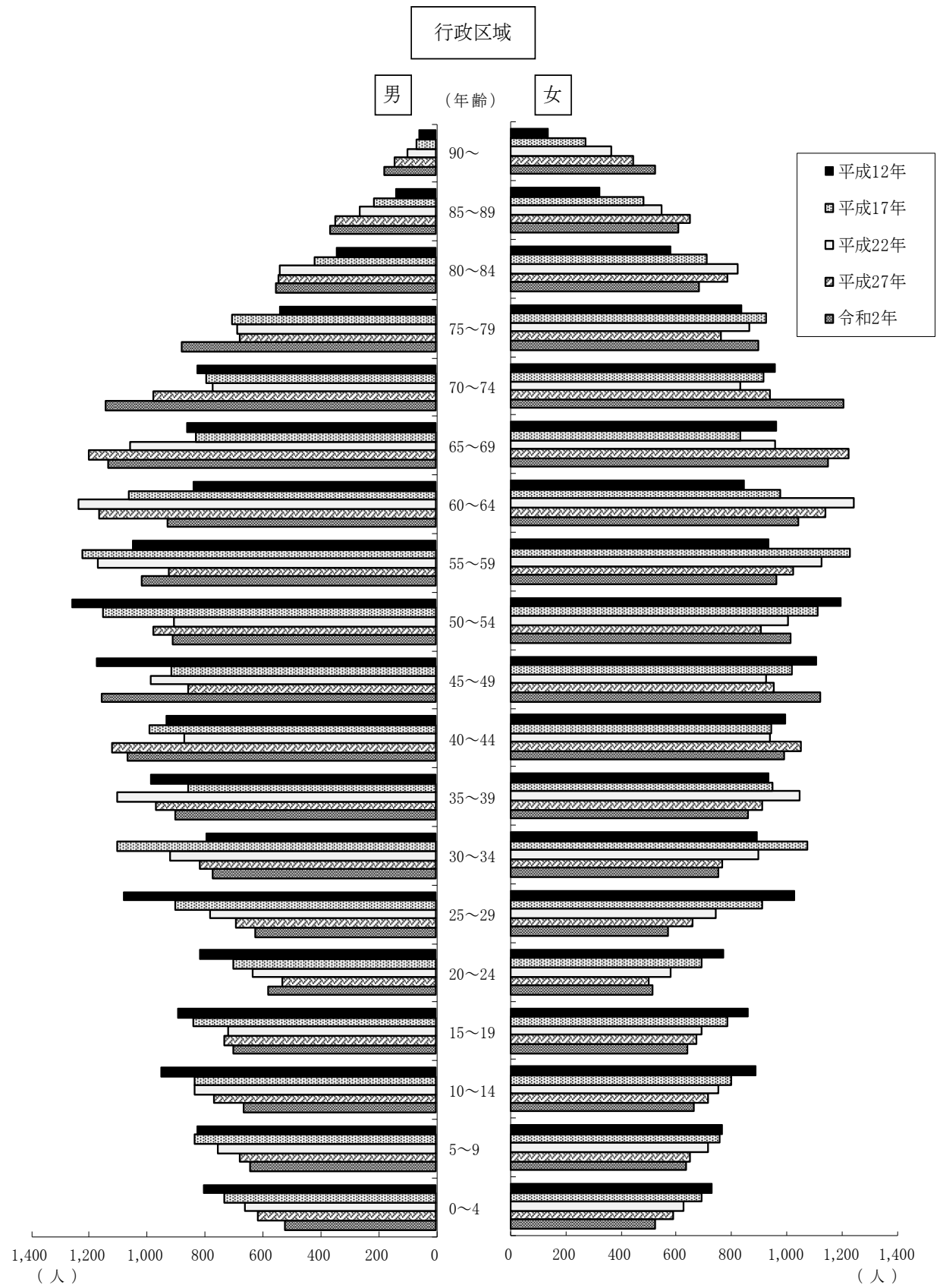


図 1 - 3 年齢・性別人口分布



C0102_DID

本市では、昭和 45 年に旧東部町の市街地部分において発生した人口集中地区（DID 地区）は、平成 2 年には約 190ha に拡大し、人口も 6,477 人に増加した。その後、人口集中地区の面積は徐々に減少しており、平成 27 年が面積 166ha、人口 5,143 人であったことを最後に、令和 2 年は人口集中地区が無くなってしまった。

次に非線引き用途地区との関係を見ると、非線引き用途地域に対する人口集中地区の面積割合は、平成 7 年以降ほぼ 25% で推移しているとともに、非線引き用途地域に対する人口集中地区の人口割合は、平成 7 年に 43.7% であったものが平成 27 年では 38.6% となっている。このことから、非線引き用途地域における既成市街地部分の空洞化が考えられ、令和 2 年国勢調査で人口集中地区が消滅したことと一致する。

表 1－4 市街地の進展状況

資料：国勢調査 DID 地区境界データ（平成 2 年～令和 2 年）

年 度	人口集中地区			非線引き用途地域		非線引き用途地域に対する比率	
	面 積 (ha)	人 口 (人)	人口密度 (人/ha)	面 積 (ha)	人 口 (人)	面積ベース (%)	人口ベース (%)
平成 2 年	190.0	6,477	34.1	670.0	－	28.4%	－
平成 7 年	170.0	5,813	34.2	684.0	13,301	24.9%	43.7%
平成12年	170.0	5,884	34.6	684.0	13,793	24.9%	42.7%
平成17年	169.0	5,780	34.2	684.0	14,039	24.7%	41.2%
平成22年	166.0	5,373	32.4	684.0	15,672	24.3%	34.3%
平成27年	166.0	5,143	31.0	684.0	13,338	24.3%	38.6%
令和 2 年	－	－	－	684.0	13,385	－	－

C0103_将来人口

令和 7 年から 30 年後の令和 32 年までの推計を見ると、年少人口は今後 30 年このまま減少が続き、令和 2 年の 3,652 人に対し令和 32 年は 2,217 人（令和 2 年比 60.7%）と、1,435 人の減少が予測されている。また、生産年齢人口も今後 30 年減少を続け、令和 2 年の 17,120 人に対し令和 32 年は 11,878 人と、5,242 人の減少（令和 2 年比 69.4%）が予測されている。

一方、老年人口は今後 30 年間増加を続け、令和 2 年の 9,350 人に対し令和 32 年は 10,474 人となり、1,124 人の増加（令和 2 年比 112.0%）が予測されている。

以上のことから、少子高齢化の進展が予測される状況となっている。

なお、市全体の人口予測は、令和 2 年の 30,122 人に対し令和 32 年には 24,569 人と予測されており、令和 2 年より 5,553 人の減少（令和 2 年比 81.6%）が見込まれている。

表 1－5 年齢・性別将来人口

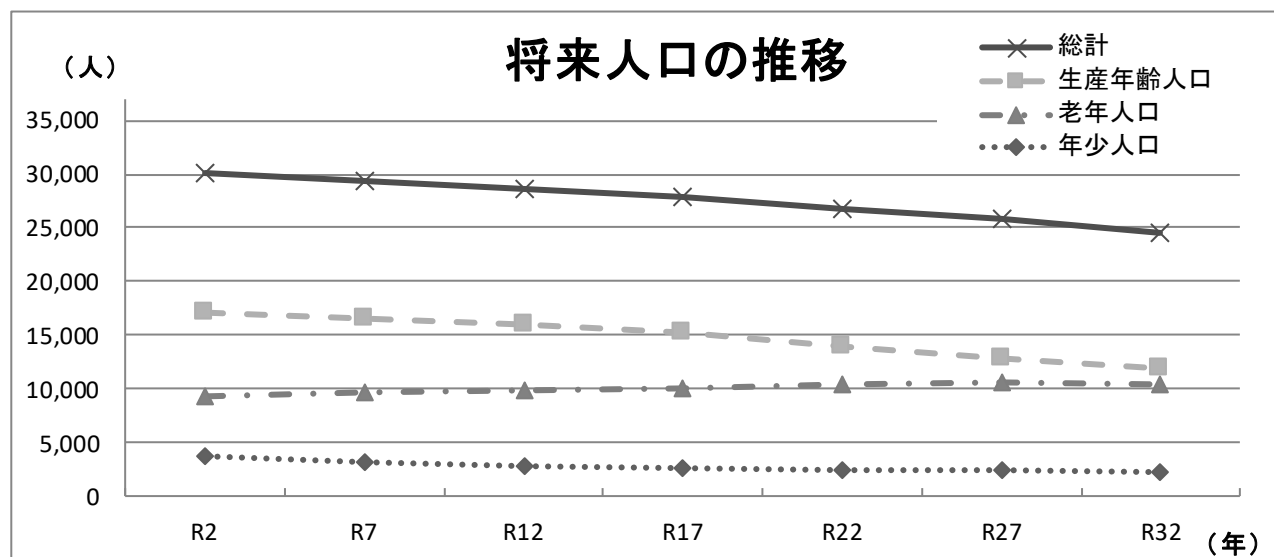
資料：国立社会保障・人口問題研究所（令和 5（2023）年推計）

年 齢	令和2年			令和7年			令和12年			令和17年			令和22年			令和27年			令和32年		
	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女	総 計	男	女
0～4	1,044	522	522	888	455	433	847	434	413	815	418	397	781	400	381	716	367	349	638	327	311
5～9	1,280	644	636	1,087	538	549	929	471	458	887	450	437	856	434	422	821	416	405	753	382	371
10～14	1,328	666	662	1,281	644	637	1,090	538	552	934	473	461	891	451	440	861	436	425	826	418	408
15～19	1,344	703	641	1,174	587	587	1,131	567	564	963	475	488	824	416	408	788	398	390	760	384	376
20～24	1,093	581	512	1,048	553	495	909	460	449	875	443	432	747	372	375	639	326	313	610	311	299
25～29	1,197	626	571	1,304	689	615	1,233	649	584	1,077	549	528	1,040	530	510	890	447	443	764	393	371
30～34	1,524	772	752	1,290	677	613	1,408	745	663	1,328	699	629	1,155	590	565	1,118	571	547	959	482	477
35～39	1,758	901	857	1,588	813	775	1,360	717	643	1,492	790	702	1,407	742	665	1,221	626	595	1,183	606	577
40～44	2,054	1,066	988	1,802	928	874	1,629	838	791	1,407	745	662	1,544	820	724	1,457	771	686	1,264	651	613
45～49	2,279	1,159	1,120	2,076	1,065	1,011	1,821	928	893	1,648	839	809	1,434	751	683	1,570	824	746	1,482	775	707
50～54	1,924	911	1,013	2,308	1,172	1,136	2,093	1,071	1,022	1,837	934	903	1,664	846	818	1,461	763	698	1,595	834	761
55～59	1,980	1,018	962	1,991	942	1,049	2,381	1,208	1,173	2,157	1,102	1,055	1,893	962	931	1,719	873	846	1,520	792	728
60～64	1,967	928	1,039	2,000	1,026	974	2,013	951	1,062	2,405	1,218	1,187	2,178	1,109	1,069	1,913	969	944	1,741	882	859
65～69	2,283	1,135	1,148	1,942	915	1,027	1,982	1,015	967	1,999	943	1,056	2,391	1,210	1,181	2,167	1,103	1,064	1,905	965	940
70～74	2,350	1,144	1,206	2,211	1,071	1,140	1,892	871	1,021	1,936	969	967	1,964	906	1,058	2,345	1,162	1,183	2,125	1,059	1,066
年少人口	3,652	1,832	1,820	3,256	1,637	1,619	2,866	1,443	1,423	2,636	1,341	1,295	2,528	1,285	1,243	2,398	1,219	1,179	2,217	1,127	1,090
生産年齢人口	17,120	8,665	8,455	16,581	8,452	8,129	15,978	8,134	7,844	15,189	7,794	7,395	13,886	7,138	6,748	12,776	6,568	6,208	11,878	6,110	5,768
老年人口	9,350	4,279	5,071	9,609	4,374	5,235	9,841	4,500	5,341	9,989	4,486	5,503	10,422	4,701	5,721	10,576	4,805	5,771	10,474	4,784	5,690
総 計	30,122	14,776	15,346	29,446	14,463	14,983	28,685	14,077	14,608	27,814	13,621	14,193	26,836	13,124	13,712	25,750	12,592	13,158	24,569	12,021	12,548

※令和2年は国勢調査による実績値

（単位：人）

図 1－4 将来人口の推移



C0104_人口増減

本市の平成 12 年から令和 2 年にかけての人口増減の要因別となる自然増減は、平成 12 年は出生者数が死亡者数を上回る自然増であったが、平成 17 年以降は出生者数が死亡者数を下回る自然減に転じており、令和 2 年現在でも自然減が続いている。一方、社会増減について見ると、平成 17 年までは転入者が転出者を上回る社会増であったが、平成 22 年及び平成 27 年は転入者が転出者を下回る社会減となっており、令和 2 年は転入者が転出者を上回る社会増となっている。

表 1－6 自然増、社会増の推移

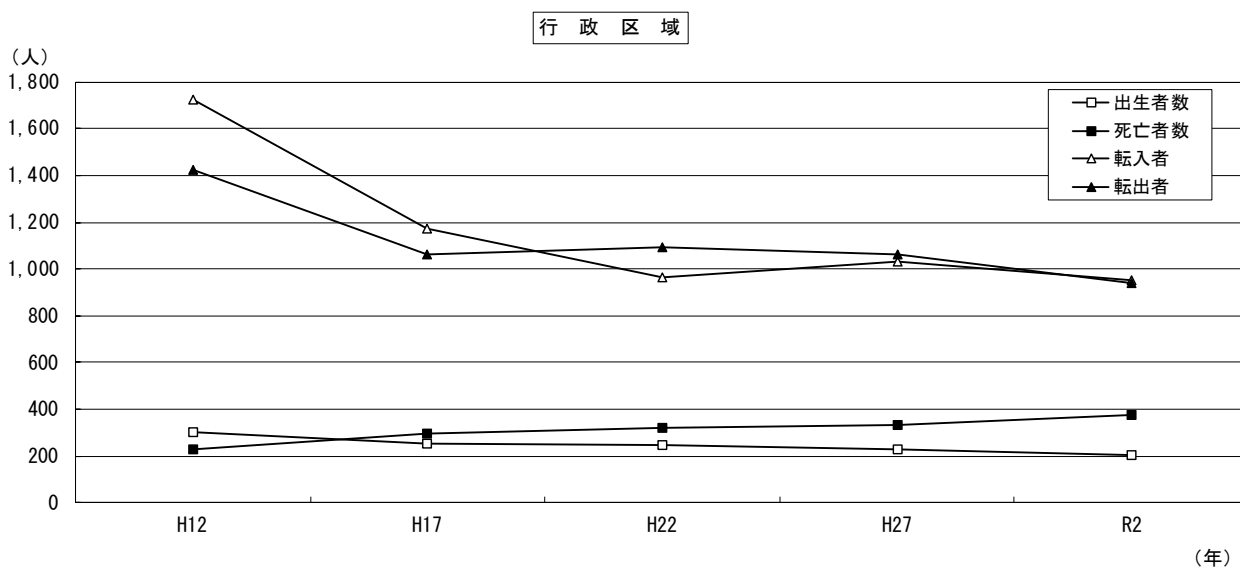
資料：毎月人口異動調査・人口動態調査

行政区域	年		H12年	H17年	H22年	H27年	R2年
	自然増		68	△ 45	△ 108	△ 105	△ 170
行政区域	出生者数		299	253	239	228	204
	死亡者数		231	298	347	333	374
	社会増		305	108	△ 93	△ 31	12
	転入者数		1,728	1,171	846	1,030	951
	転出者数		1,423	1,063	939	1,061	939
	その他増減		0	10	9	△ 15	0
	人口増加数		373	73	△ 192	△ 151	△ 158
	人口増加率		0.37%	0.07%	-0.19%	-0.15%	-0.16%
都市計画区域	年		H12年	H17年	H22年	H27年	R2年
	自然増		68	△ 45	△ 108	△ 105	△ 170
都市計画区域	出生者数		299	253	239	228	204
	死亡者数		231	298	347	333	374
	社会増		304	108	△ 93	△ 31	12
	転入者数		1,727	1,171	846	1,030	951
	転出者数		1,423	1,063	939	1,061	939
	その他増減		0	10	9	△ 15	0
	人口増加数		372	73	△ 192	△ 151	△ 158
	人口増加率		0.37%	0.07%	-0.19%	-0.15%	-0.16%
非線引き用途地域	年		H12年	H17年	H22年	H27年	R2年
	自然増		30	△ 20	△ 48	△ 47	△ 75
非線引き用途地域	出生者数		133	112	106	101	91
	死亡者数		103	132	154	148	166
	社会増		136	48	△ 41	△ 13	6
	転入者数		768	520	376	458	423
	転出者数		632	472	417	471	417
	その他増減		0	4	4	△ 7	0
	人口増加数		166	32	△ 85	△ 67	△ 69
	人口増加率		0.17%	0.03%	-0.09%	-0.07%	-0.07%

注：都市計画区域の数値は、行政区域に占める人口の割合(国勢調査)により按分した数値。

注：非線引き用途地域の数値は、都市計画区域に占める人口の割合(国勢調査)により按分した数値。

図 1－5 出生者数・死亡者数、転入者数・転出者数の推移



C0105_通勤・通学移動

本市の通勤・通学移動のうち就業者集計を見ると、令和２年は流出就業者数が 7,102 人、流入就業者数が 6,558 人で 544 人の流出超過となっており、この傾向は平成 12 年から続いている。

流出先・流入先の内訳を見ると、令和２年における流出先の第１位は上田市の 4,034 人、第２位が小諸市の 1,035 人となっており、全流出就業者の 27.6%が上田市である。また、流入先においても第１位は上田市の 3,648 人、第２位は小諸市の 1,000 人で、全流入就業者数の 25.8%が上田市であることから流出・流入ともに上田市との関わりが強くなっている。

表 1－7 通勤・通学移動（就業者集計）

資料：国勢調査（平成 12 年～令和 2 年）

年		常住地による就業者数	流出		従業地による就業者数	流入		従/常就業者比率
			就業者数	流出率		就業者数	流入率	
平成12年	東部町	13,612	5,832	42.8%	13,055	5,275	40.4%	95.9%
	北御牧村	3,018	1,523	50.5%	2,173	678	31.2%	72.0%
平成17年		16,366	7,083	43.3%	15,195	5,912	38.9%	92.8%
平成22年		15,344	7,234	47.1%	14,597	6,375	43.7%	95.1%
平成27年		15,317	7,267	47.4%	14,969	6,885	46.0%	97.7%
令和2年		14,611	7,102	48.6%	14,120	6,558	46.4%	96.6%

年		流 出 先														
		流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位			流出率第4位			流出率第5位		
		市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成12年	東 部 町	上田市	2,744	20.2%	小諸市	908	6.7%	丸子町	695	5.1%	佐久市	307	2.3%	長野市	240	1.8%
	北 御 牧 村	東部町	370	12.3%	上田市	326	10.8%	小諸市	221	7.3%	丸子町	128	4.2%	望月町	116	3.8%
平成17年		上田市	3,095	18.9%	小諸市	1,065	6.5%	丸子町	867	5.3%	佐久市	657	4.0%	長野市	299	1.8%
平成22年		上田市	4,120	26.9%	小諸市	1,060	6.9%	佐久市	742	4.8%	長野市	279	1.8%	軽井沢町	244	1.6%
平成27年		上田市	4,199	27.4%	小諸市	995	6.5%	佐久市	715	4.7%	長野市	270	1.8%	軽井沢町	258	1.7%
令和2年		上田市	4,034	27.6%	小諸市	1,035	7.1%	佐久市	746	5.1%	長野市	249	1.7%	軽井沢町	227	1.6%

年		流 入 先														
		流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位			流入率第4位			流入率第5位		
		市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成12年	東 部 町	上田市	2,074	15.9%	小諸市	833	6.4%	丸子町	629	4.8%	北御牧村	370	2.8%	真田町	223	1.7%
	北御牧村	上田市	142	6.5%	小諸市	120	5.5%	東部町	83	3.8%	佐久市	65	3.0%	立科町	62	2.9%
平成17年		上田市	2,436	16.0%	小諸市	917	6.0%	丸子町	703	4.6%	佐久市	618	4.1%	真田町	272	1.8%
平成22年		上田市	3,734	25.6%	小諸市	953	6.5%	佐久市	678	4.6%	立科町	237	1.6%	御代田町	147	1.0%
平成27年		上田市	3,796	25.4%	小諸市	1,144	7.6%	佐久市	808	5.4%	立科町	242	1.6%	御代田町	165	1.1%
令和2年		上田市	3,648	25.8%	小諸市	1,000	7.1%	佐久市	789	5.6%	立科町	233	1.7%	長野市	150	1.1%

※就業者を表記

注1 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業者をいう。

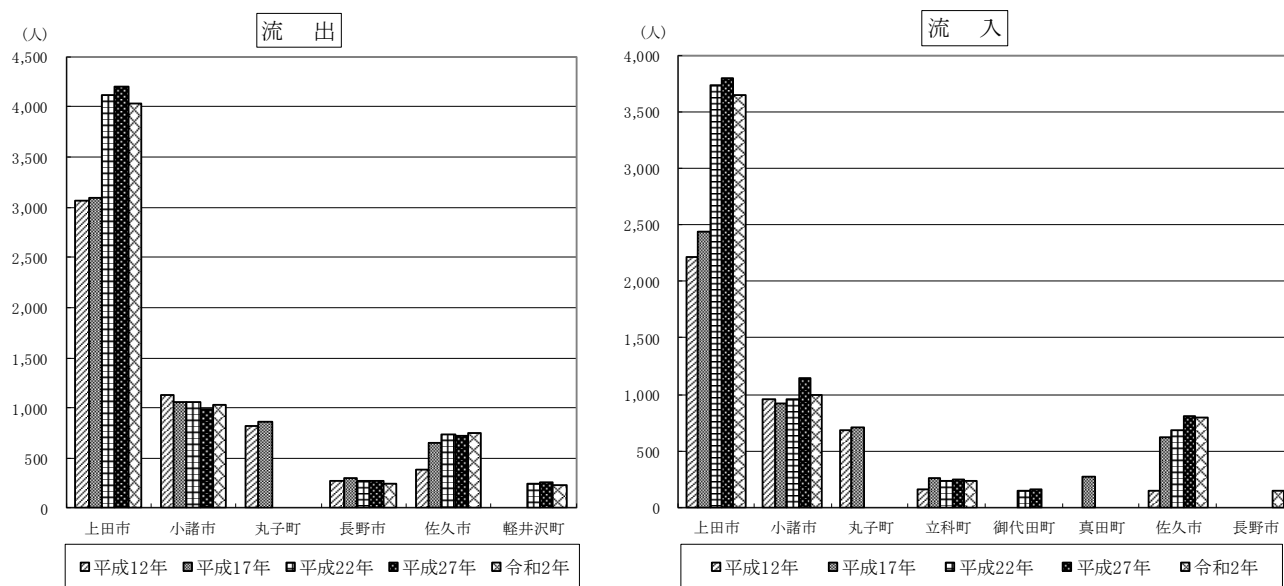
従業地による就業者数とは、当該都市に従業する(昼間人口ベース)就業者をいう。

注2 流出率＝流出就業者数÷常住地による就業者数×100

流入率＝流入就業者数÷従業地による就業者数×100

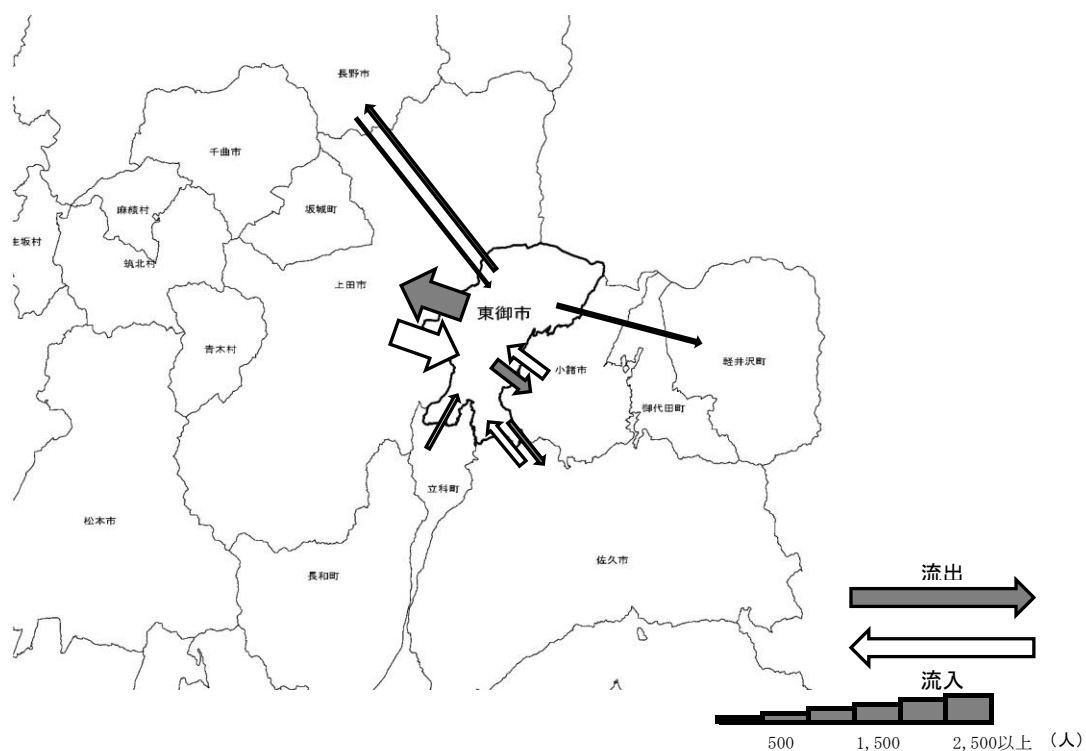
注3 (従／常)就業者比率＝従業地による就業者数÷常住地による就業者数×100

図 1-6 就業者の流出先・流入先別推移



※平成7年～平成12年の流入人口については、旧東部町と旧北御牧村で合算が可能な数値のみグラフ化した。
※就業者を表記

図 1-7 流出入状況図（就業者・令和 2 年）



※15歳以上の常住地・従業地の流出・流入を対象とした。
 ※流出率・流入率は第5位までを対象とした。
 ※就業者を表記